

第 42 回東京モーターショー2011

BMW 目次



1	第 42 回東京モーターショー2011	
	BMW (ショート・バージョン)	2
2	第 42 回東京モーターショー2011	
	BMW (ロング・バージョン)	
2.1	個性的でダイナミック： ニュー BMW 1 シリーズのデザイン・ライン「 Sport 」	3
2.2	先進的な都会派： ニュー BMW 1 シリーズのデザイン・ライン「 Style 」	4
2.3	知性が生み出す効率性： BMW アクティブハイブリッド 5	5
2.4	美しさと運動性能への情熱： ニュー BMW 6 シリーズクーペ	7
2.5	さらなる効率性、さらなる優位性、さらなる贅沢： BMW アクティブハイブリッド 7	8
2.6	湧き上がる駆けぬける歓び： BMW X1	9
2.7	BMW ブルーパフォーマンス・テクノロジーのジャパン・プレミア： BMW X5 xDrive35d BluePerformance	10

本プレス・インフォメーションの内容は、特に記載のない限り日本市場向けの仕様を基に記載しています。
その他の市場においては、仕様が異なる場合があります。

1 第42回東京モーターショー2011

BMW (シヨート・バージョン)



数々の基準を確立するドライブトレイン周りの革新技术の導入により、BMWは絶えず駆けぬげる喜びを高め続け、燃料消費量と排出ガス値を削減し続けています。ドイツのプレミアム自動車メーカーであるBMWは、東京モーターショー2011において、次世代のBMW ActiveHybridテクノロジー、BMW ツインパワー・ターボ搭載の新しい直列4気筒ガソリン・エンジン、日本市場に初登場するBMW BluePerformance (BMW ブルーパフォーマンス)を搭載した直列6気筒ディーゼル・エンジンを紹介し、この分野における指導的な開発能力をアピールします。東京モーターショー(2011年12月3日~11日)は、BMW ActiveHybrid 5のワールド・プレミアの舞台となります。このフル・ハイブリッド・セダンには、直列6気筒ガソリン・エンジンと電気モーター、8速オートマチック・トランスミッション、高出力リチウムイオン・バッテリーが組み込まれています。BMWが送る第3のハイブリッド・カーは、これらのテクノロジーを組み合わせることにより、市街地での電気モーターのみでの走行、極めてダイナミックに加速するためのブースト機能、エンジン停止状態でのクルージング走行を可能にします。BMW ActiveHybrid 5は世界唯一のインテリジェント・エネルギー・マネジメント・システムを備え、ナビゲーション・システムとネットワーク接続することでドライブトレインに先読み機能を組み込み、常に適切な状態に調整することができます。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを搭載した新世代の直列4気筒ガソリン・エンジンは、ニューBMW 1シリーズだけではなく、BMW X1 xDrive20iにも搭載されます。ニューBMW 6シリーズクーペにも、BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー採用のエンジンを搭載します。その結果、いずれも駆けぬげる喜びをさらに高め、該当する車両セグメントにおいて世界でも比類ない効率性を発揮します。

道路交通車両が発生する有害物質の排出量を大きく削減するため、BMWはBMW ブルーパフォーマンス・テクノロジーによる先進のディーゼル・エンジンで、さらなる進歩を実現します。今回、日本に初めてBMW ディーゼル・モデルが登場します。BMW X5 xDrive35d BluePerformanceは、スポーティで重厚な外観に、優れた推進力と模範的な排出ガス性能を特徴とする3.0リッター直列6気筒ディーゼル・エンジンが組み合わされています。エミッション・コントロール・システムには、ディーゼル微粒子フィルターと酸化触媒コンバーターその他、排出ガス中のNOx濃度を低減させるために尿素噴射を行うAdBlueシステムも組み込まれています。BMW ブルーパフォーマンス・テクノロジーは、このような排出ガス特性向上技術により、世界で最も厳しい排出ガス基準さえもクリアしています。

2 第42回東京モーターショー2011 BMW



(ロング・バージョン) 2.1 個性的でダイナミック： ニューBMW 1シリーズの デザイン・ライン「Sport」

ニューBMW 1シリーズは、新開発のエンジン、特徴的なデザイン、走行快適性の向上、そして高品質のインテリアを装備したより広い空間により、人々の熱い視線を集めています。このニューBMW 1シリーズでは、さらなるカスタマイジングのための新たな可能性を提供します。標準装備に代わる新たな選択肢として、BMWが初めて導入するデザイン・ラインを用意し、専用のデザインと緻密に調和された装備品により、BMW 1シリーズに一味違ったキャラクターをもたらします。

ニューBMW 1シリーズのデザイン・ライン「Sport(スポーツ)」には、専用素材を採用したスポーツ・シート、赤いステッチによるコントラストが光るスポーツ・レザー・ステアリング・ホイール、キーに装着された赤色のアクセント、スライド式アームレスト、ハイグロス・ブラック仕上げのインテリア・トリム、マット・コーラル・レッドのハイライト(アクセント・ストリップ)などが含まれます。メーター・パネルには、専用デザインの数字と目盛りがあしらわれています。インテリアのアンビエント・ライトはオレンジとホワイトの間で色彩を切り替えることができ、センター・コンソールと足元スペースにも光源が配置されています。

デザイン・ライン「SPORT」のこの他の特徴として、専用デザインの16インチ・スター・スポーク・スタイリング・アロイ・ホイール、ブラック・クローム仕上げのエグゾースト・テール・パイプ、「BMW Sport」のロゴが刻まれたエントランス・ストリップがあります。また、フロント・エンドではキドニー・グリルのバーおよびセンター・エア・インテークのトリム・バー、左右のエア・インテークのインサート、リヤ・バンパーのバーが、いずれもハイグロス・ブラック仕上げとなっています。また、オプション装備品として、ハイグロス・ブラック仕上げのドア・ミラー・カバーやツートン仕様の17インチ・アロイ・ホイールを選択することもできます。

ニューBMW 1シリーズは、2種類のモデル・バリエーションが日本市場に提供されます。BMW 116iには最高出力100 kW(136 ps)の、またBMW 120iには最高出力125 kW(170 ps)の、いずれも新開発されたBMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー搭載の直列4気筒エンジンが搭載されます。

2.2 先進的な都会派： ニューBMW 1 シリーズの デザイン・ライン「Style」



ニューBMW 1 シリーズのモデル構成に新たに設定されたデザイン・ラインによって、個性的なスタイルをより効果的に、調和のとれた方法で表現しています。デザイン・ラインの「Style(スタイル)」では、特にこのコンパクト・モデルの先進的なキャラクターを強調しています。専用に組み合わせられた装備類、カラー・コーディネート、そしてエクステリアとインテリアの素材が、ニューBMW 1 シリーズの外観に都会的なエレガンスをもたらしています。

BMW の新しいデザイン・ライン「Style」の装備範囲には、専用のクロス/レザー・コンビネーション・シート他に、スポーツ・レザー・ステアリング・ホイールとスライド式アームレスト、立体的な効果を生み出す新素材の亚克力・ガラス製インテリア・トリムが含まれます。インテリア・トリムには、マット・オキシッド・シルバーのハイライト(アクセント・ストリップ)が付いたホワイトまたはブラックが用意されています。このデザイン・ライン「Style」では、オレンジとロイヤル・ブルーまたはホワイトとロイヤル・ブルーの色彩を切り替えることができる LED アンビエント・ライトが装備され、趣のある室内の雰囲気演出します。また B ピラーには追加の光源が用意され、照明の効果を高めています。

Style のエクステリアには、専用デザインの 16 インチ・V スポーク・スタイリング・アロイ・ホイールまたはオプションで表面をハイグロス仕上げのアルペン・ホワイトで塗装された 17 インチ・V スポーク・スタイリング・アロイ・ホイール、リヤ・バンパーの白いバーが含まれます。フロント・エンドで、前面がクローム・メッキ、側面がホワイトのキドニー・グリル・バーと、同様にホワイトのセンター・エア・インテークのトリム・バーがアクセントになっています。左右のエア・インテークのインサートはボディと同色で塗装されています。デザイン・ライン「Style」には、「BMW Style」のロゴが刻まれたエントランス・ストリップと、白いアクセントの付いたキーが用意されます。さらにオプションで、ホワイト・ドア・ミラー・キャップを用意しています。

デザイン・ラインは、ニューBMW 1 シリーズに用意されているすべてのボディ・カラー、装備パッケージや個別オプションと組み合わせることができます。それぞれのラインの範囲を明確にするため、顧客の特殊な要望に応える場合でも、シート・カバー、インテリア・トリム、ハイライト(アクセント・ストリップ)、アロイ・ホイールに関して、ラインごとに指定された選択肢から選ぶようになります。ニューBMW 1 シリーズ用のアクセサリ・プログラムには、他にもそれぞれのデザイン・ラインにカラーとスタイルを合わせたバッグ、フロア・マット、キー・ケースなどが用意されます。

2.3 知性が生み出す効率性： BMW アクティブハイブリッド 5



BMW はインテリジェントなハイブリッド・ドライブ・システムの開発を一貫して継続し、量産モデルのラインナップを次々と拡張しています。内燃機関と電気モーターを組み合わせることは、効率性を向上させるだけでなく、BMW の特徴である駆けぬける喜びをさらに高めることとなります。BMW ActiveHybrid 5 (BMW アクティブハイブリッド・ファイブ) には、初めて BMW ツインパワー・ターボを搭載した直列 6 気筒ガソリン・エンジンと電気モーター、さらに 8 速オートマチック・トランスミッションを組み合わせています。最新世代の BMW ActiveHybrid テクノロジーにはさらに、精密に制御され、そのためひとときわ効率の良いエネルギー・マネジメント・システムが組み込まれます。これにより BMW ActiveHybrid 5 は、アッパーモデル・クラスのプレミアム・セグメントにおいて卓越した走行性能と燃費の良さをバランスよく実現しています。このドライブ・システムのシステム全体の最高出力は 250 kW (340 ps) です。BMW ActiveHybrid 5 はこのシステムにより、電気モーターのみで最高 60 km/h で走行し、停止状態から 100km/h までを 5.9 秒で加速し、100km 走行あたり 6.4~7.0 リッターという平均燃料消費量を実現し、1km 走行あたりの CO₂ 排出量は 149~163 g に抑えます (燃費値は EU テスト・サイクルに準拠しており、選択するタイヤの種類によって異なります)。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを搭載した最高出力 225 kW (306 ps) の直列 6 気筒エンジンは、滑らかな作動、優れた駆動力と効率の良さで知られる BMW 535i のエンジンに相当します。電気モーターの出力は 40 kW (55 ps) で、ラゲッジ・ルームに搭載されている高出力リチウムイオン・バッテリーがエネルギーを供給します。両方の駆動装置の動力は、8 速オートマチック・トランスミッションを介して後輪に伝達します。BMW ActiveHybrid 5 は、市街地での電気モーターのみによるゼロ・エミッション走行を可能にするフル・ハイブリッド特性の他に、競合他車にはないスポーティな走行性能だけでなく、BMW 535i に対しパーセンテージにして 2 桁台の燃料消費量の削減を実現します。

BMW ActiveHybrid テクノロジーのポテンシャルを最大限に利用するため、パワー・エレクトロニクスインテリジェント・エネルギー・マネジメントは、駆動システムの効率的な作動を実現する多くの革新的な機能を備えています。高性能バッテリーの充電は、惰性走行時と制動時に集中して行います。その際、電気モーターは高電圧バッテリーに電力を貯蔵するための発電機の役割を果たします。一方、加速プロセスでは電気モーターがブースト機能を実現します。電気モーターは、このセダンのスポーティな走りをさらに濃縮して実感できるよう、特にダイナミックな駆動トルクを必要とする場合にガソリン・エンジンを支援します。さらに ECO PRO モードを使用すると、160 km/h 以下の速度で惰性走行をしているときにエンジンを停止させ、さらに接続を完全に分離します。このクルージング走行モードが作動すると、その時点の運動エネルギーを効率良く利用しながら、快適に走行すること

ができます。交差点での一時停止時や渋滞での無駄なアイドリングを避けるため、BMW ActiveHybrid 5 にはハイブリッド・スタート・ストップ機能が備わっています。さらに、BMW ActiveHybrid 5 に標準装備されているナビゲーション・システム・プロフェッショナルとパワー・エレクトロニクスはネットワークで接続されています。これにより走行状況を予測して分析することが可能になり、それに基づいて最大限に効率が良くなるように駆動系のコンポーネントの作動を調整します(効率性は使用可能なナビゲーション・データの質に応じて異なります)。

駆動テクノロジーとエネルギー・マネジメントなど、すべてのハイブリッド専用コンポーネントは、BMW ActiveHybrid 5 に導入するために特別に開発されました。その結果、極めて調和の取れた全体コンセプトが生まれ、BMW ActiveHybrid テクノロジーのクオリティは実際の走行においても真価を発揮します。当然のことながら、すべての新しいハイブリッド・コンポーネントは車両の耐用年数に合わせて設計されています。

BMW ActiveHybrid では、BMW 5 シリーズ セダンのスポーティでエレガントなボディ・デザインに、ハイブリッド・モデル特有のキャラクターを示唆する独特なアクセントが加えられています。C ピラーに装着された「ActiveHybrid 5」のロゴ、電気メッキが施された BMW キドニー・グリル・バー、マット・クローム仕様のエグゾースト・テール・パイプが、エクステリアの特徴となっています。オプションで、空力特性が極めて良好な 18 インチ・ストリームライン・スタイリング・アロイ・ホイールが用意されています。BMW 5 シリーズで唯一のハイブリッド・モデルとして、BMW ActiveHybrid 5 のエクステリア・カラーはブルーウォーター・メタリックを選ぶこともできます。さらに、「ActiveHybrid 5」のロゴが刻まれたエントランス・レール、センター・コンソールのロゴ入りアルミ製エンブレム、専用エンジン・カバー、そしてトランク・ルーム内の高性能バッテリー専用ハウジング上の「ActiveHybrid Power Unit」のロゴにより、BMW ActiveHybrid 5 の外観は他のすべてのモデル・バリエーションから差別化されています。

インテリア・カラー、シート、インテリア・トリムは、BMW 5 シリーズ セダンに提供されているプログラムの中から選択できます。標準装備されるコンフォート装備には、ナビゲーション・システム・プロフェッショナル、4 ゾーン・コントロール機能とステーションナリー・クライメート・コントロール機能付きのオートマチック・エア・コンディショナーがあります。

2.4 美しさと運動性能への情熱： ニューBMW 6 シリーズ クーペ



ニューBMW 6 シリーズ クーペは、贅沢という喜びと革新的なテクノロジーで、美意識が高い人のためのスポーツ・カーというイメージを打ち出しています。プレミアム自動車メーカーである BMW は、この第 3 世代のアップパー・クラス・クーペで、エクスクルーシブなドリーム・カーの数十年間の伝統に新たなページを書き加えます。ニューBMW 6 シリーズ・クーペは抗いがたい魅力あるデザインで感銘を与え、先代モデルからさらに向上した運動性能と、最適化されたことがはっきりと分かる快適性、そしてより広くなった空間により、人々の熱い視線を集めます。このクルマは、極めて魅力的な方法で優れたスポーツ性とエクスクルーシブな走行快適性、そして 460 リッターという大容量のトランク・ルームを組み合わせています。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを搭載するエンジンは、スポーティなパワーの立ち上がりと模範的な効率性をもたらします。BMW 650i クーペの V8 エンジンは、300 kW (407 ps) の最高出力を発生します。BMW 640i クーペの直列 6 気筒ガソリン・エンジンは、最高出力 235 kW (320 ps) です。どちらのエンジンも、8 速スポーツ・オートマチック・トランスミッションが組み合わされます。BMW 640i には、オート・スタート・ストップ機能や ECO PRO モードなど、多彩な BMW EfficientDynamics テクノロジーも標準装備されます。停止状態から 100 km/h までの加速は、BMW 650i クーペが 5.1 秒、BMW 640i クーペは 5.8 秒です。

ニューBMW 6 シリーズ クーペは、新開発のサスペンション・システムを装備し、運動性能と走行快適性を理想的にバランスさせています。標準装備の電動リック・パワー・ステアリングは、オプション装備のインテグレイテッド・アクティブ・ステアリングと同じく、このセグメントで唯一採用されているシステムです。オプション装備には他にも、ダイナミック・ダンパー・コントロールおよびアンチロール・スタビライザー付のアダプティブ・ドライブが用意されています。車両の設定をドライバーの好みに合わせることでできるドライビング・パフォーマンス・コントロールは、標準装備されています。

ニューBMW 6 シリーズ クーペには、アダプティブ LED ヘッドライトがオプション設定されています。またこのセグメントで唯一、グラフィック表示のカラー・パレットを拡張した新世代の BMW ヘッドアップ・ディスプレイを含むドライバー支援システムと、BMW コネクテッド・ドライブによるモビリティ・サービスを採用しています。標準装備される BMW iDrive 操作システムには、フラット・スクリーンを採用した独立型のコントロール・ディスプレイを装備しています。オプション装備品のバング & オルフセン・ハイ・エンド・サラウンド・サウンド・システムは、きわめて質の高いサウンドを楽しむことができます。

2.5 さらなる効率性、さらなる優位性、 さらなる贅沢： BMW アクティブハイブリッド 7



BMW はハイブリッド・テクノロジーを採用し、高級感あふれるゴージャスなフォルムをまとった 1 台の車に仕上げました。それが BMW ActiveHybrid 7 (BMW アクティブハイブリッド・セブン) です。BMW 7 シリーズをベースにしたこのセダンは、ラグジュアリー・クラスにおける効率性に新たな基準を確立します。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジー搭載の V8 ガソリン・エンジンと三相同期モーターを組み合わせた BMW ActiveHybrid 7 は、システム・トータル出力が 342 kW (465 ps)、最大トルク 700 Nm を発揮します。動力の伝達は、8 速オートマチック・トランスミッションを介して行います。電気モーターはコンパクトな構造で、エンジンとオートマチック・トランスミッションのトルク・コンバーターの間に取り付けられており、自動車専用開発された高出力リチウムイオン・バッテリーからエネルギーが供給されます。

2 つの動力源の協調動作を正確に制御することにより、効率性だけでなく運動性能および快適性も大幅に向上することができます。BMW アクティブハイブリッド 7 の 0-100 km/h 加速タイムは、わずか 5.1 秒です。これに対し、EU テスト・サイクルによる平均燃料消費量は 100 km 走行あたり 9.7 リッター、CO₂ 排出値は 1 km 走行あたり 225 g となっています。

BMW ActiveHybrid 7 には、交差点での一時停止時や渋滞での無駄なアイドリングを避けるハイブリッド・スタート・ストップ機能が装備されています。また、電気モーターと同様にリチウムイオン・バッテリーから電力が供給され、エンジン停止状態でも使用できるエア・コンディショナーとベンチレーション・システムを装備しています。優れたエネルギー・マネジメント・コンセプトにより、効率的な停車時のクライメート・コントロールも実現しています。

ハイブリッド・コンポーネントの効率および作動状況は、メーター・パネル内の専用ディスプレイとコントロール・ディスプレイに表示されます。BMW ActiveHybrid 7 には、専用デザインを採用し、空力特性を高めた 19 インチ・タービン・ホイール・スタイリング・アロイ・ホイールが装着されています。また標準モデルとハイブリッド・モデルを明確に差別化するため、トランク・リッド、サイド・ウインドウ後方の C ピラー、ドアにモデル・エンブレムが装着されています。BMW 初のハイブリッド・ドライブ・システムを搭載するラグジュアリー・セダンにも、2 種類のボディ・バリエーションが用意されます。ロング・ホイールベース仕様の BMW ActiveHybrid 7 のホイールベースは標準仕様よりも 14 cm 延長されており、特に後席乗員の快適性を一段と向上させています。

2.6 湧き上がる駆けぬける喜び： BMW X1



セグメント初のプレミアム・カーである BMW X1 は、効率性の分野における先導的な地位をさらに強化します。東京モーターショー2011 で BMW は、新たなモデル・バリエーションのコンパクト・オールラウンド・モデルを発表します。BMW X1 xDrive20i には BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した新開発 4 気筒ガソリン・エンジンを搭載し、駆けぬける喜びと燃費の関係をさらに最適化しています。このパワー・ユニットは、ツイン・スクロール・ターボチャージャー、高精度ダイレクト・インジェクション・システム、可変バルブ制御システム「バルブトロニック」によるテクノロジー・パッケージで構成されています。この排気量 2.0 リッター、最高出力 135 kW (184 ps) のエンジンは、スポーティなパワーの立ち上がりと低燃費および低排出ガスにより、この出力クラスの基準を確立します。

新しいエンジンの最高出力 135 kW (184 ps) は 5,000~6,250 rpm の回転域で、また 270 Nm の最大トルクは 1,250~4,500 rpm で発揮します。その結果生み出される推進力と滑らかな作動により、8 速オートマチック・トランスミッションを標準装備する BMW X1 xDrive20i は、停止状態から 100 km/h までを 8.6 秒で駆けぬけます。

BMW X1 xDrive20i は、インテリジェント四輪駆動システム BMW xDrive を含むドライブレイン・テクノロジーと、モダンなデザインで多様な使い方ができる室内スペースにより、多様性に富んだ経験をするためのモビリティに必要な条件を提示します。多くの収納ボックスや収納トレイ、センター・コンソールのカップ・ホルダーや、ドリンク・ボトル・ホルダーが内蔵された大型のドア・ポケットなどにより、機能的なキャラクターを強調しています。この 5 シーター・モデルのラゲージ・ルーム容量は 420 リッターで、後席のバックレストを倒すと 1,350 リッターまで拡大できます。より高くなったシート・ポジションとドライバー・オリエンテッドなコックピット配置が、BMW X1 の感動的なドライビング・エクスペリエンスをサポートします。



2.7 BMW ブルーパフォーマンス・テクノロジーのジャパン・プレミア： BMW X5 xDrive35d BluePerformance

感動を覚えるほどの推進力と模範的な効率性が、特にヨーロッパにおいて、また世界中の多くの自動車市場で、BMWのエンジン・バリエーションに用意されたディーゼル・エンジンの人気に一役買っています。BMW BluePerformance (ブルーパフォーマンス)テクノロジーは、極めて優れた燃費を誇り、世界で最も厳しい排出ガス規制を何の問題もなくクリアします。今回 BMW は、日本のお客様にもこの BMW ブルーパフォーマンス・テクノロジーによる先進のディーゼル・エンジンの品質を体験していただく機会を提供します。ドイツのプレミアム自動車メーカーである BMW は、東京モーターショー2011での BMW X5 xDrive35d BluePerformance のプレミアで、魅力あふれるスポーツ・アクティビティ・ビークルのエンジン・バリエーションを拡張します。新たなエンジン・バリエーションにより、その優位性と多様性はさらに理想的な方法で強調されます。BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーを搭載した 3.0 リッター直列 6 気筒ディーゼル・エンジンは、最高出力 180 kW (245 ps) を誇り、また 540 Nm の最大トルクを 1,750 ~ 3,000 rpm という幅広い回転域で発揮します。その結果、このモデルのスポーティなキャラクターにふさわしい魅力あふれる強烈なパワーと、極めて優れた燃費、排出ガス特性をすべて実現しています。

排出ガス品質を最適化するため、BMW X5 xDrive35d BluePerformance にはディーゼル微粒子フィルターおよび酸化触媒コンバーターに加え、さらに BMW BluePerformance テクノロジーを採用しています。尿素噴射を行う AdBlue システムによって、排出ガス中の窒素酸化物 (NOx) 濃度をさらに低減することができます。AdBlue を噴射すると、触媒の中にアンモニアが発生し、排出ガスに含まれる窒素酸化物を環境を汚染しない窒素と水蒸気に変換します。エミッション・コントロールの採用によって BMW X5 xDrive35d BluePerformance の走行性能に悪影響を及ぼすことはありません。

BMW X5 xDrive35d BluePerformance には 8 速オートマチック・トランスミッションが標準装備され、0-100km/h 加速は 8.0 秒です。また、標準装備される四輪駆動システム BMW xDrive は、俊敏なハンドリング、卓越した走行安定性、そしてあらゆる条件下で優れたトラクションを発揮します。広々とした高級感あふれるデザインの BMW X5 xDrive35d BluePerformance のインテリアには、5 人分のシートが用意されています。2 ピース構造のテールゲートを開けると多様な使い方ができるラゲッジ・ルームがあり、その容量は 620 リッターから 1,750 リッターにまで拡張することができます。